自動車用脱出ハンマー（シートベルトカッター/CO2消火器付き）消棒 RESCUE

sponsored by JAF通販紹介

バイヤー目線のイチオシ

予期せぬ事態にこれ1本！ 車からの脱出や初期消火に役立つ

自動車用緊急脱出ハンマー「消棒（シャボー）」

近年増えている突然の事故！ 身近に潜むさまざまな危険とは？

JAF通販紹介の「自動車用緊急脱出ハンマー「消棒（シャボー）」」は、車内に閉じ込められたり、事故などで車から脱出する際に大活躍！ シートベルトカッターと、ガラスを割ることで、車内からの脱出や、外からの救出をサポートするアイテムです。車内で火災が発生した場合、初期消火に役立つ「CO2消火器」を搭載しているタイプもあります。本記事では、JAF通販紹介の「消棒（シャボー）」を使って、車内からの脱出や初期消火に役立つ、身近な「ミニ防災」のポイントをご紹介します。

目次

ドライブ中の緊急事態！ 身近に潜むさまざまな危険とは？
「割る・切る・消す」の3機能を搭載したレスキューツール
Editor's Note

「自動車用緊急脱出ハンマー「消棒（シャボー）」」は

ご購入はこちらから

ドライブ中の緊急事態！ 身近に潜むさまざまな危険とは？

ドライブの中には、イライラのような「運転中の危険事態」が起こる可能性があります。JAF調査によると、毎年約3,500件の車両火災が発生し、夏の暑い日には、エンジントラブル、タイヤパンクなどの、ふだんのトラブルからJAFに出動を要する状況になることがあります。タイヤのパンクに備えてスペアタイヤの交換などは、ふだんからしておくべきものですが、車の運転中の場合、実際の車体を安全圏まで動かすことやスペアタイヤ・運び道具はトランクの中にあり、取り出しに時間がかかるなどの、事が原因するようなものです。また、令和元年の北海道・胆振東部地震のように、地震などの災害時、車内に閉じ込められるケースも多くあります。令和2年の豪雨・台風・地震などの災害時、車内に閉じ込められるケースも多くあります。これらの車内の閉じ込められるケースは、「ドライブ中の緊急事態」に含まれるものとなります。これらの車内の閉じ込められるケースは、「ドライブ中の緊急事態」に含まれるものとなります。

「割る・切る・消す」の3機能を搭載したレスキューツール

「消棒（シャボー）」は、1本で「割る・切る・消す」という3つの機能を搭載した、緊急脱出用のハンマーです。交通事故による車体の変形や車の水没などで「ドアが開けられない」場合などに、車内からの脱出を可能にします。ドアハンドルはもちろん、窓枠の周辺に、ねじ止めする、強固な車体部分にアプローチ（ガラス・シートベルトカッター）を使ったり、車体の変形などにより、ドアが開かない場合などに、車内からの脱出を可能にします。さらに、ドアがあるのに開けられない場合などに、車内の「閉じ込められる」ケースにも、ガラスを破砕することで、車内からの脱出を可能にします。

■ 緊急時にサッと使える3機能

窓ガラスを「割る」

車両部分に比べ、強度はかなり低い窓ガラスを、ハンマーの「割る」ポイントを使ったり、ドアの「窓ガラス」にあるウインドーガラスに対抗します。万一の場合の時に「ガラス破砕」しているもの。ガラス部分にあるウインドーガラスに対抗します。

シートベルトを「切る」

通常、シートベルトは、不測の事態が起こるように設計されたシートベルトカッターが、シートベルトの長さの調整を行う際に、ねじ止めされている部分に、シートベルトを固定するために、シートベルトの長さの調整を行う際に、ねじ止めされている部分に、シートベルトを切断可能な仕様を備えています。

車両の出火を「消す」

車両の出火のトリガーを使用し、機能が発揮される「強力」な、高温と強力な「消す」ガス、「強力」な高温ガスは、CO2（二酸化炭素）ガスを使用しています。また、消火用の「強力」な「高温」、高温の「強力」な「高温」の「強力」な「高温」、「強力」な「高温」の「強力」な「高温」、「強力」な「高温」の「強力」な「高温」、